

# 死亡災害が増加しています!!

北大阪署管内（枚方・寝屋川・門真・守口・大東・四條畷・交野）の平成28年11月15日現在の労働災害による死亡者は、7人で前年の3人を大幅に上回っています。

内訳は、墜落・転落2人、クレーン・重機の機械災害2人、交通事故2人、その他1人で8月以降、大幅に増加しています。

労働災害を防止するためには、裏面も参考に、職場にある危険性等を洗い出し対策を講じるとともに、労働者の安全意識の向上に努めることも必要です。

平成28年死亡災害

北大阪労働基準監督署

番号	発生月	業種	年齢	性別	職種	事故の型	発生状況の概要
1	1月	造園業	40代	男	その他	その他	勤務中に事業場の乗用車内で、焼身自殺をした。 (死亡前3か月間に月100時間以上の時間外労働があるなど心理的負荷の程度が強かったもの。)
2	6月	建物解体工事業	50代	男	土工	墜落 転落	倉庫の解体工事現場で、高さ約4.5mの木製梁によって屋根材裏の板材を撤去していたところ、木製梁が折れて墜落した。
3	8月	建築工事業	50代	男	土工	激突され	ドラグショベルのバケットに荷を玉掛けし、つり上げ、トラック荷台付近まで移動させていたところ、荷がトラックのあおりに接触し、その反動で荷が落下し、付近にいた被災者に激突した。
4	8月	社会福祉施設	40代	男	作業員	交通事故	利用者を迎えに行くため、事業場の乗用車を運転中、道路沿いの壁に衝突した。
5	9月	金属製品製造業	50代	男	溶接工	飛来 落下	自ら天井クレーンを運転し、クランプで1点吊りした荷を移動していたところ、通路脇の品物に荷が接触しその反動で落下し被災者に当たった。
6	10月	社会福祉施設	70代	女	作業員	交通事故	施設入居者の買い物に同行し、横断歩道を横断していたところ、軽自動車に衝突された。
7	11月	園芸管理業	50代	男	作業員	墜落 転落	高さ約3.6mの擁壁上で、生け垣の剪定をしていたところ、墜落した。

## 北大阪労働基準監督署

# 「災害の防止対策」

## ① 墜落・転落の危険のある箇所には、



- 作業床（足場）を設置し、高さ2 mを以上の作業では、安全带を使用（安全带の着用と使用確認を実施し、「必ず安全帯を着用する、使用する」ルールを！）して下さい。
- 安全带取付設備を設置（安全带を使用させるための設備を事前に設置し、そこへ掛けるよう適切に指示を！）して下さい。

※ 労働安全衛生規則 抜粋（第 519 条）

1 事業者は、高さ 2 m 以上の作業床の端、開口部等で墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのある箇所には、囲い、手すり、覆い等（中略）を設けなければならない。

2 事業者は、（中略）囲い等を設けることが著しく困難なとき（中略）は防網を張り、労働者に安全帯を使用させる等墜落による労働者の危険を防止するための措置を講じなければならない。

※ 労働安全衛生規則 抜粋（第 520 条）

高さ 2 m 以上の箇所で作業を行なう場合において、労働者に安全帯等を使用させるときは、安全帯等を安全に取り付けるための設備等を設けなければならない。

※ 労働安全衛生規則 抜粋（第 563 条）

事業者は、足場における高さ 2 m 以上の作業場所には、（中略）作業床を設けなければならない。

## ② ドラグショベル等の車両系建設機械は、主たる用途以外に使用してはなりません。（労働安全衛生規則第 164 条）



- 一部適用除外がありますが、様々な条件があります。
- 近くにあったため、わざわざ移動式クレーンを使用するまでもない、面倒などの理由で安易に使用しないして下さい。
- 計画の当初から、クレーン機能付きドラグショベルを選択して下さい。

## ③ 長時間の残業等過重な労働が続くと、脳・心臓疾患を発症するリスクが高まることが医学的に知られており、過労死等を防止するため、



- 労働時間を把握し、長時間労働を削減する等適切な労働時間管理をして下さい。
- 適切な健康管理を実施して下さい。

## ④ 交通労働災害の防止のため、

- 交通法規を守るようにして下さい。
- 「交通労働災害防止のためのガイドライン」（厚生労働省公表、平成 25 年 5 月最新改正）を参考に取り組みを実施して下さい。

（特に、60 歳代以上で災害が多発し、また、自転車については、転倒災害等も多くなっていますが、宅配、介護及び各種営業活動等あらゆる業種で便利な交通手段として、利用する頻度が高まっている反面、運転資格が不要で誰でも容易に使用できることも原因として考えられます。）

デジタルタコグラフ等  
を活用した日常教育  
(安全の見える化)



交通安全情報マップ  
(安全の見える化)

